

謹賀新年

笠間市長 山口伸樹



明けましておめでとございます。市民の皆様には、輝かしい新春を迎えることとお慶び申し上げます。

また平素より、市政全般にご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。新年にあたり、今年の抱負を申し上げます。

昨年を振り返って

昨年は、震災により閉鎖しておりました市民体育館や友部公民館の復旧、そして笠間支所の旧法務局庁舎移転の改修工事も順調に進み、三月中旬に開所できる運びとなるなど、公共施設の震災復旧について一定の見通しがついた一年でありました。

また、本市が掲げております「健康都市づくり」の一環として、NHK夏季巡回ラジオ体操を誘致し、笠間芸術の森公園で開催したところ、市民の皆様を始め、関係団体ならびに市内各企業など多くの方々にご参加をいただき成功を収めることができました。合併後の笠間市としての一体感を感じる事ができました。

さて、最近の我国の経済情勢でございますが、現政権下での経済政策の効果により景気は緩やかに回復しつつあると感じております。しかしながら本市を取り巻く情勢は、合併十年目となる平成二十八年度から地方交付税が削減されるなど、財政状況はますます厳しいものになると思われます。本市で

は行財政改革の断行や事務事業の見直し、重点施策への予算の重点的配分など効率的・効果的な行政サービスと健全な行財政運営を図ってまいります。

健康で暮らせるまちづくり

本市では一昨年「健康都市かさま」の構築を目指すことを宣言し、その実現に向け取り組んでまいりました。今年も引き続き、市民の健康水準と生活の質の向上を図るため保健、医療、食、運動の「人の健康づくり」と、都市基盤、芸術、文化などの「生活を支える環境づくり」を柱に、市民と行政が一体となって「健康都市かさま」の実現に向け取り組んでまいります。

主な取り組みとして、市街地の道路をヘルスロードに指定し、ウォーキングによる運動習慣の定着を図り、生活習慣病を予防する健康づくり事業や、食育の推進を図るため、食事のバランスを考慮した料理レシピ本を作成し「食」の大切さを発信してまいります。

また、施設の老朽化が進んでいる市立病院については、病院機能の見直しを図るとともに、友部駅北地区への移転新築に向け、平成三十年の新病院開院を目指し取り組んでまいります。

駅周辺のまちづくり

駅周辺の未利用公有地の有効活用を目的とした「駅周辺の活性化」と、観光交流拠点の賑わい創出を目的とした「笠間稲荷周辺の活性化」を柱に、それぞ

れの整備計画を推進してまいります。

主な取り組みとして、友部駅・岩間駅周辺には、子どもから高齢者まで気軽に集まり、さまざまな活動に利用できる「地域交流センター」を整備するため、現在市民の皆様の声聞きながら基本設計を進めております。また、古くから石材産業の中心である稲田駅につきましては、稲田石などの地域資源を生かした観光拠点として「石の百年館」が建設中であり、三月末に完成する予定となっております。さらに、本市の観光の中心であります笠間稲荷門前通りにつきましては、地場産の稲田石を用いた道路整備を進め、観光客に優しい歩行空間を提供するとともに、旧井筒屋旅館の再生を含めた周辺整備を行うなど、魅力ある街並みへの整備を進めてまいります。

今後進展する「少子高齢化・人口減少社会」に対応できるよう、生活を支える街の拠点を整え、そこに人々が集まり、便利で活力のある、そしていつでも健康で暮らせる「笠間」をつくるため、職員一丸となって取り組んでまいりますので、市民の皆様におかれましても、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に今年一年の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。ごあいさついたします。